

# 景況

レポート  
2022年10〜12月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは前期比  
9.7ポイントプラス

今回のアンケート調査は、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を受けながらも、社会全体が新たな行動制限を加えず、経済情勢が正常化に向かいつつある中で実施いたしました。

今期の全業種の業況DIは前期比9.7ポイント改善し▲17.2となり、前期と比較して上昇の兆しがみられ、全体の景況判断としてはやや改善の状況となりました。しかしながら、来期の見通しについては不動産業以外の業種が横ばいやマイナス予想となっており、本格的な回復にはもう少し時間を要するものと思われます。今後も経済活動の正常化が一段と進むことが予想されますが、原材料や電力価格の上昇、それに伴う生活必需品の値上げなどマイナス要因も多く引き続き経済動向に注視していく必要があります。

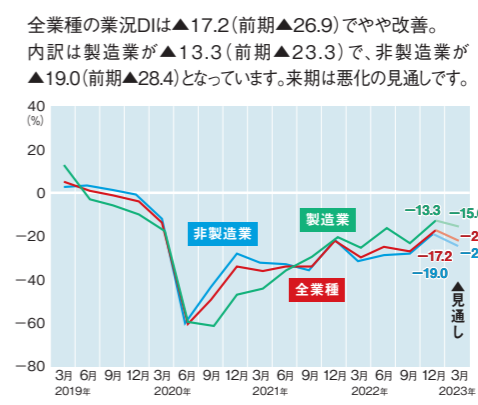
調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1538社	452社	29.4%	159社	44社	27.7%	116社	35社	30.2%	345社	89社	25.8%
	394社	135社	34.3%	323社	89社	27.6%	201社	60社	29.9%			

調査時点/2022年11月11日～11月30日  
調査依頼先/当庫取引先  
調査方法/郵送調査  
調査対象期間/[今期]2022年10月～12月  
[前期]2022年7月～9月  
[来期]2023年1月～3月  
分析方法/[増加](上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

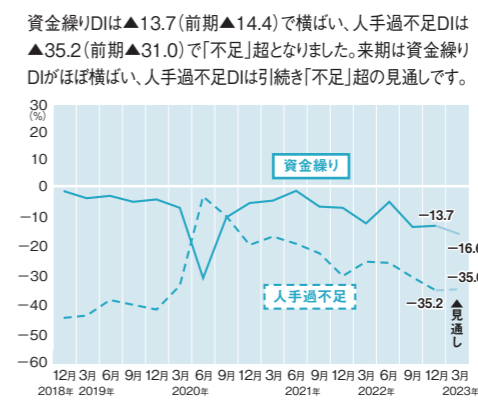
## 全業種総合DI

業況はやや改善  
来期は悪化の見通し

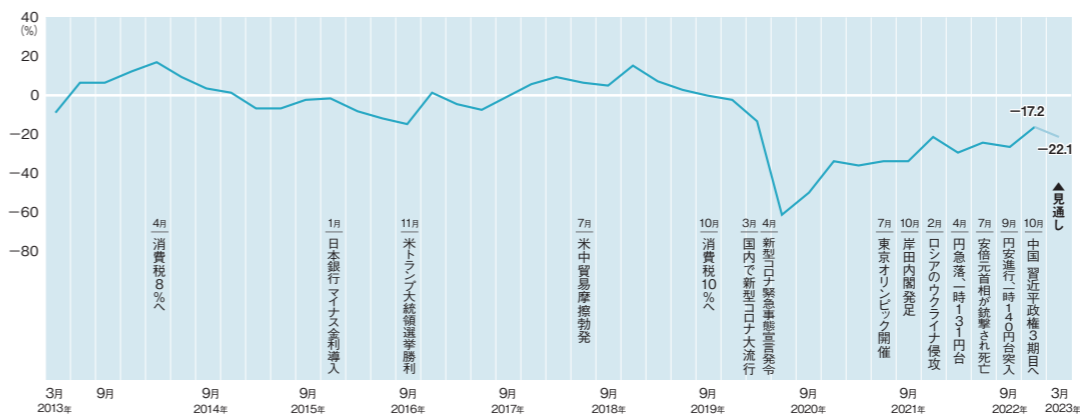
### 業況DIの推移



### 資金繰りDI: 人手過不足DI



### 10年間の推移(業況DI)

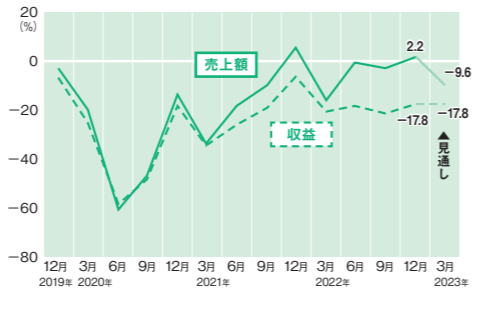


前期  
今期  
見通し

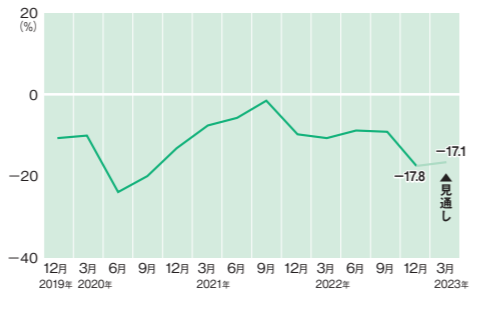
## 製造業

業況はやや改善、  
来期はほぼ横ばいの見通し

### 売上額・収益DI(前期比)



### 資金繰りDI

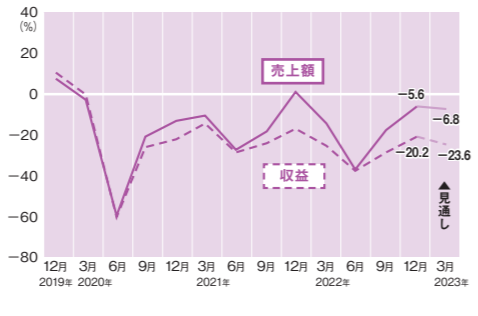


前期  
今期  
見通し

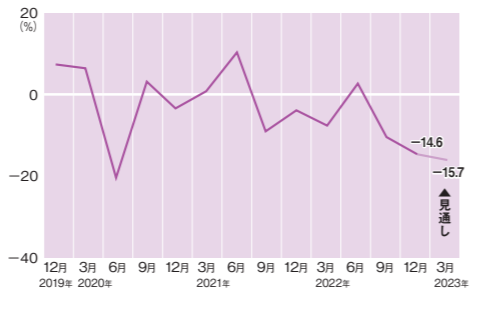
## 建設業

業況はやや改善、  
来期は横ばいの見通し

### 売上額・収益DI(前期比)

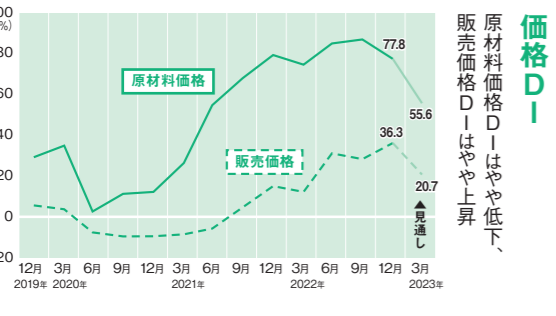
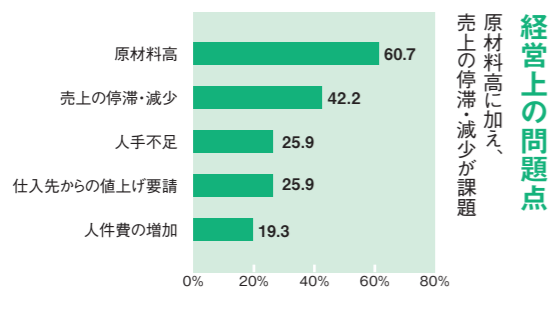
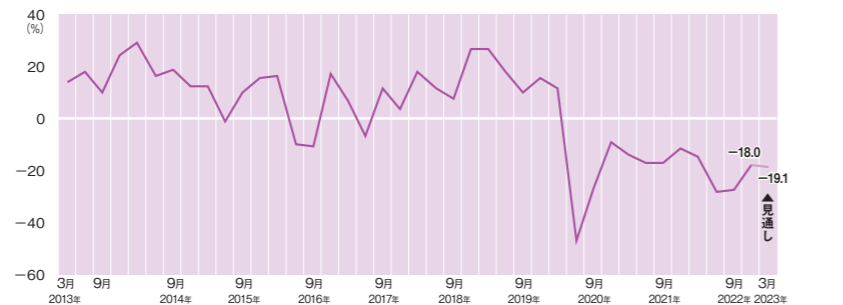


### 資金繰りDI



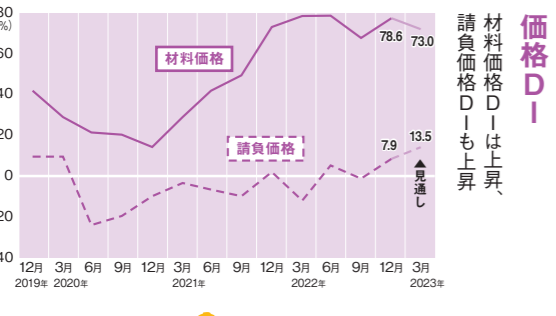
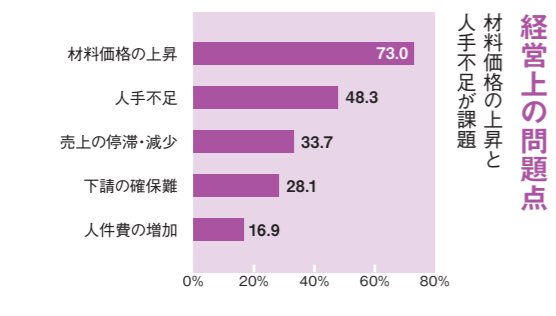
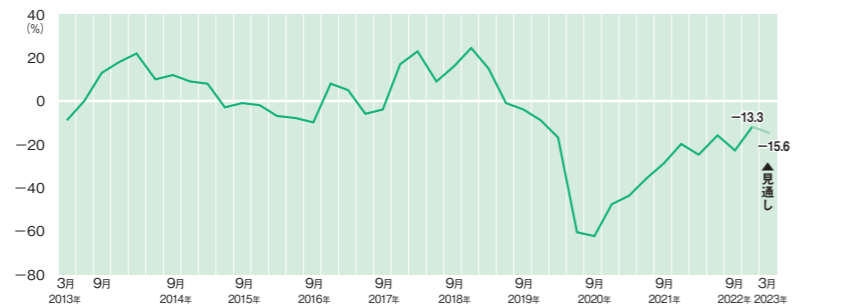
前期  
今期  
見通し

### 10年間の推移(業況DI)



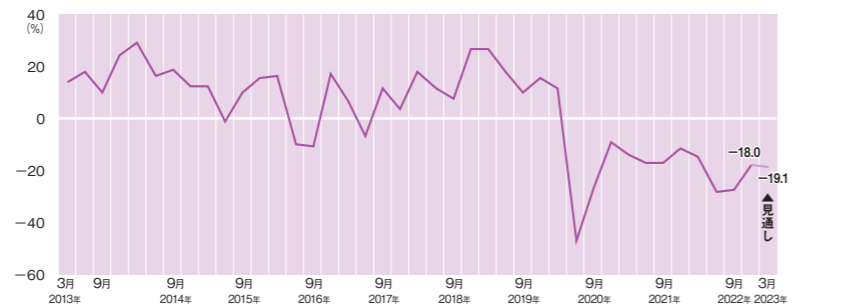
### お客様の声

原材料費を転嫁できたとしても、それが原因で需要減になることが考えられる。(尼崎市 印刷物製造業)  
今年原材料が上がり、来年も上がる予定。来年も厳しい状況が続くと思われる。(摂津市 紙管製造業)



### お客様の声

資材・製品の値上げ、運搬等の石油高騰、運転手不足などあらゆる所で建築費が上昇し、お客様が可哀相に思う。又、不動産不足の為、業者が高額な価格による買い漁りをするのも残念である。(尼崎市 総合建設業)  
リフォーム等の工事は圧倒的に零細が多いので、値下げ競争が常習化している。何か特徴を持たないと長続きできない。(尼崎市 防水・塗装業)





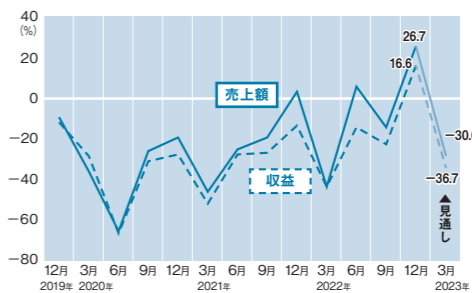
# 卸売業

業況は改善、  
来期は大幅に悪化の  
見通し



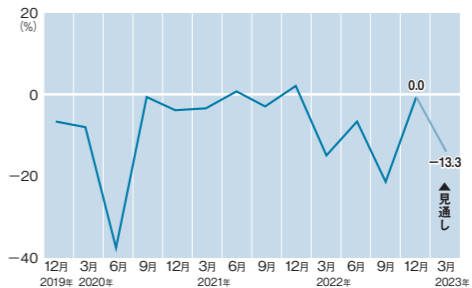
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に改善、  
収益D1も大幅に改善



## 資金繰りD1

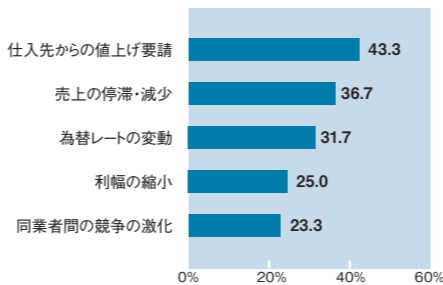
資金繰りD1は大幅に改善



## 10年間の推移(業況D1)

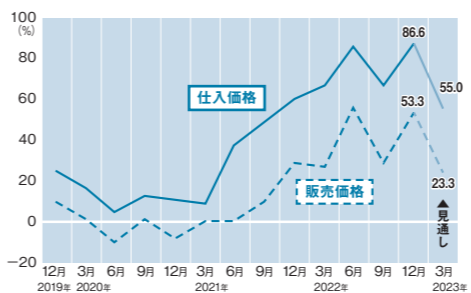
## 経営上の問題点

仕入先からの値上げ要請に加え  
売上の停滞・減少が課題



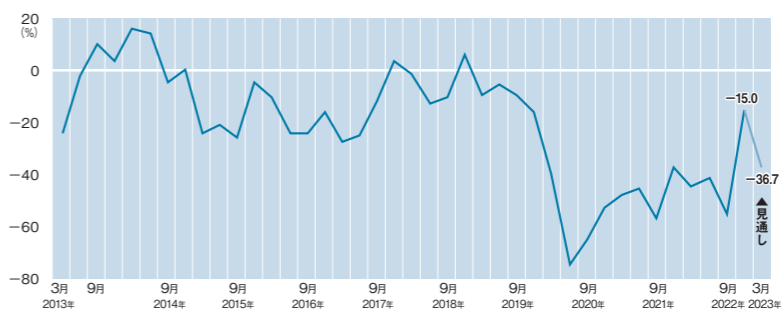
## 価格D1

仕入価格D1は大幅に上昇、  
販売価格D1も大幅に上昇



## お客様の声

コロナとロシア・ウクライナ情勢  
が平常化しないと現状は変わら  
ないと思います。  
(三木市 卸売業)  
まだまだ厳しい。  
(神戸市 真珠卸売業)



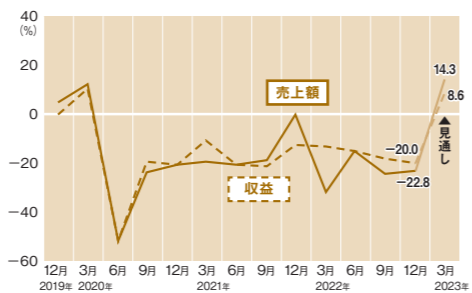
# 不動産業

業況はやや改善、  
来期は大幅に改善の  
見通し



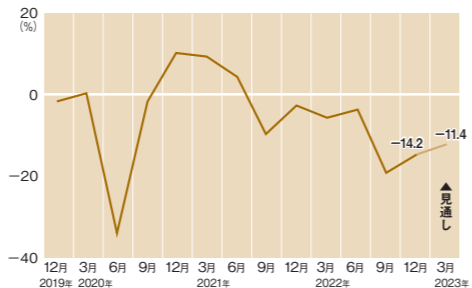
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は横ばい、  
収益D1も横ばい



## 資金繰りD1

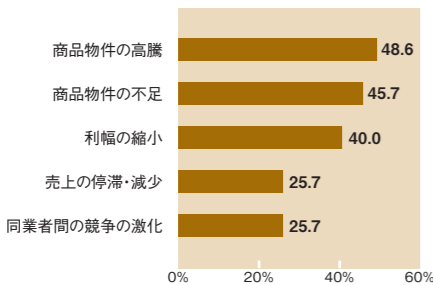
資金繰りD1はやや改善



## 10年間の推移(業況D1)

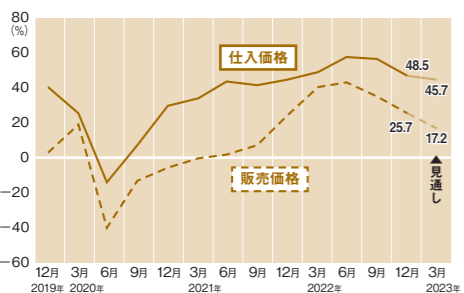
## 経営上の問題点

商品物件の高騰に加え  
商品物件の不足が課題



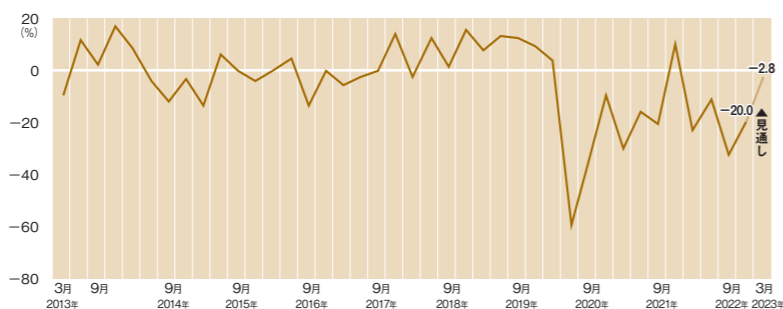
## 価格D1

仕入価格D1はやや低下、  
販売価格D1は低下



## お客様の声

入居希望者が高齢化しているの  
で、1階を希望される方が増えて  
います。2階、3階をどうするか？  
建物が古いのでどうするか…  
です。(尼崎市 賃貸管理業)



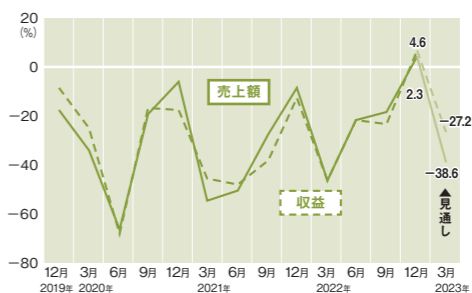
# 小売業

業況はほぼ横ばい、  
来期は大幅に悪化の  
見通し



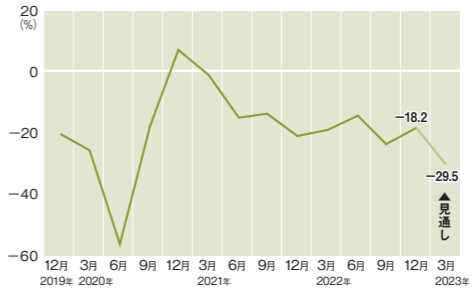
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に改善、  
収益D1も大幅に改善



## 資金繰りD1

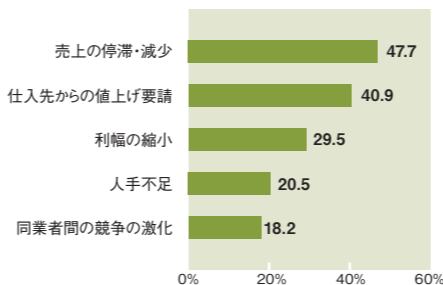
資金繰りD1はやや改善



## 10年間の推移(業況D1)

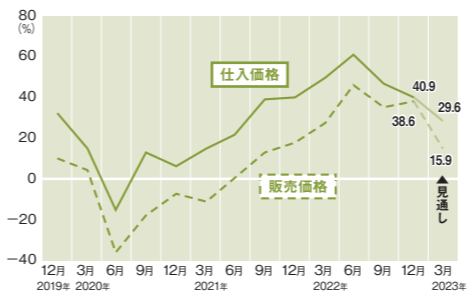
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少に加え  
仕入先からの値上げ要請が課題



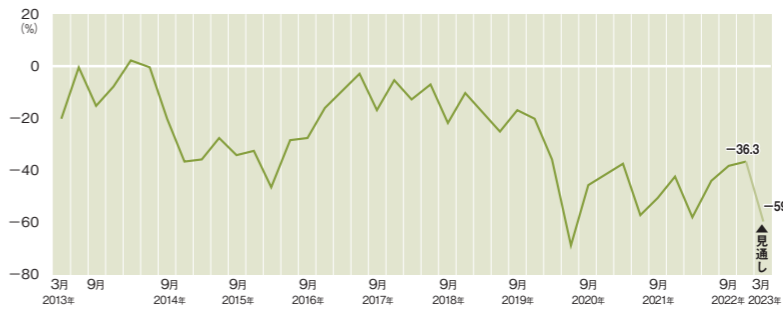
## 価格D1

仕入価格D1はやや低下、  
販売価格D1はほぼ横ばい



## お客様の声

とにかくコロナ前より全体的に売上  
が減少している。3年間で下がり、上昇  
することがあるとしても時間がかか  
りすぎて先がわからない。  
(神戸市 生花業)  
円安に伴う仕入れ価格の高騰により、  
販売価格を上げざるを得なくなった  
が、それに伴い需要が減少しており  
経営環境は厳しさを増している。  
(尼崎市 小売業)



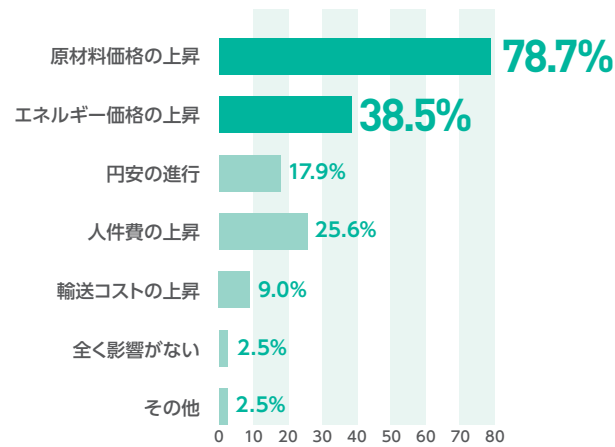
# 特別調査 2

## コスト上昇に対する価格転嫁の動向について

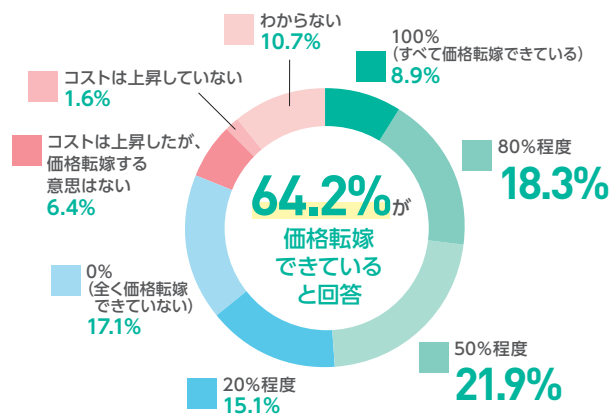
原材料やエネルギー価格の高水準での推移、人件費の上昇、円安の進行による輸入コストの上昇など、企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。こうしたなか、政府は9月の「価格交渉促進月間」を契機に、下請中小企業が様々なコストの上昇分を取引先に価格転嫁できるよう、企業の価格交渉を促進しています。そこで、今回、中小企業の価格転嫁などの動向についてアンケートを実施いたしました。

調査時期／2022年11月11日～11月30日 調査対象企業数／1538社 有効回答数／442社 有効回答率／28.7% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

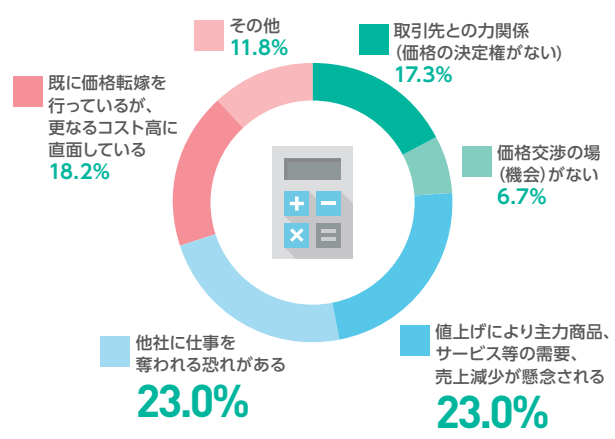
### Q1 貴社のコストが上昇している最大の要因は何ですか。 ※最大2つ選択



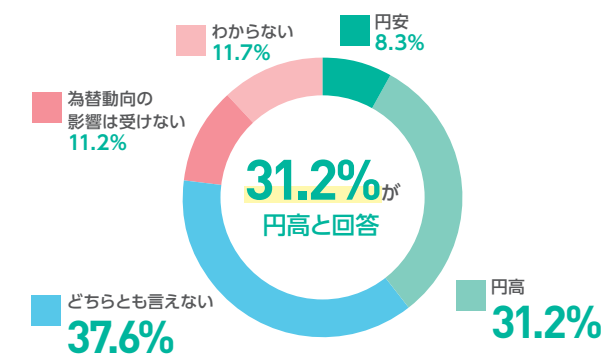
### Q2 貴社の主となる商品・サービスにおいて、コストの上昇分を販売価格やサービス料金にどの程度転嫁できていますか。 ※1つ選択



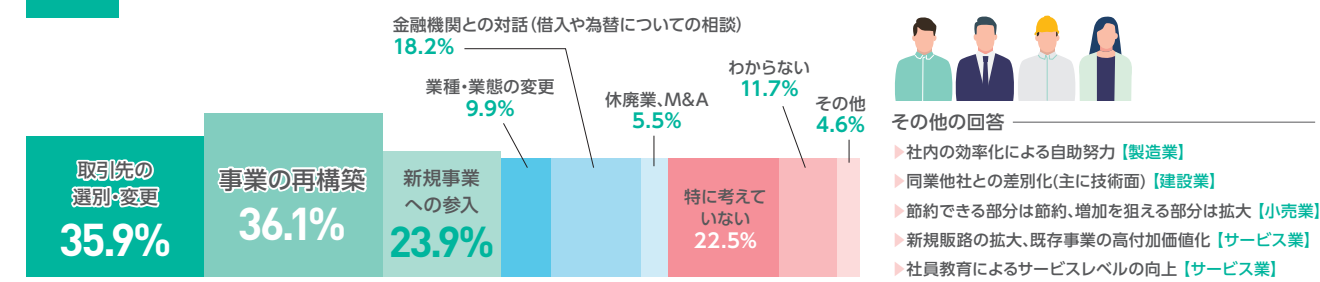
### Q3 貴社が価格転嫁の交渉を行なうにあたり、阻害要因は何ですか。 ※1つ選択



### Q4 円安の進行は、一般的に輸入取引においては不利な状況にはたりますが、輸出取引においては有利な展開となると言われています。貴社にとって円安と円高を比較した場合、どちらにメリットを感じますか。 ※1つ選択



### Q5 今後においても原材料やエネルギー価格の高水準での推移、人件費の上昇、円安の進行による輸入コストの上昇などの状況が続くと思われます。貴社は価格転嫁以外でどのような対策を講じたいと思いますか。 ※最大3つ選択



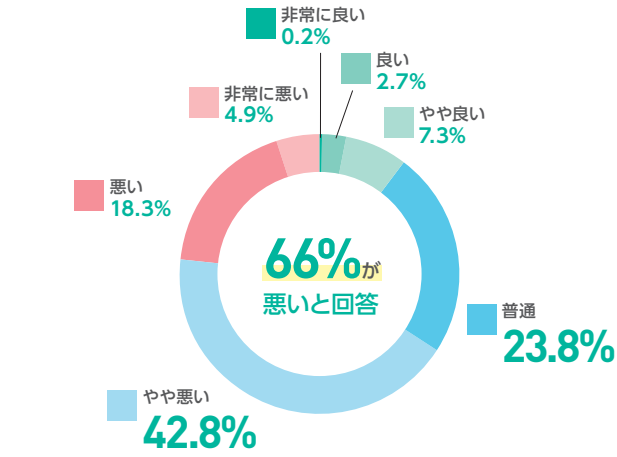
# 特別調査 1

## 2023年(令和5年)の経営見通し

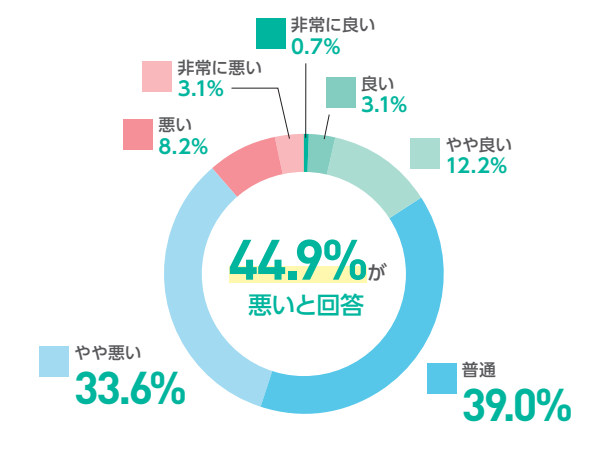
2023年の日本の景気については、原材料・仕入価格、エネルギーのさらなる価格高騰、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響など引き続き経済社会情勢の混迷が継続すると予想され、楽観視できない状況が続くと思われます。今回は2023年の日本の景気、自社の業績動向、事業環境など、どのように見通しているかについてアンケートを実施いたしました。

調査時期／2022年11月11日～11月30日 調査対象企業数／1538社 有効回答数／449社 有効回答率／29.2% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

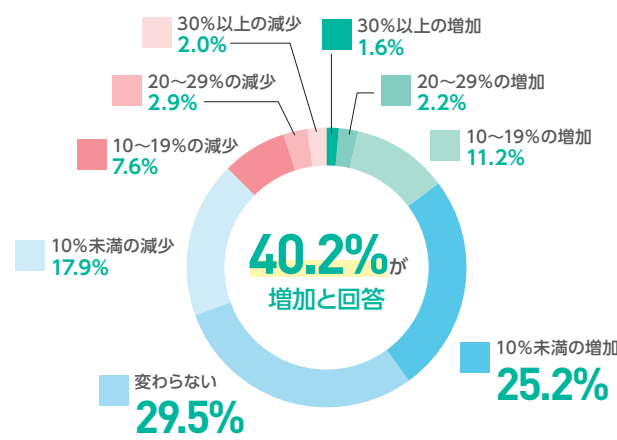
### Q1 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。 ※1つ選択



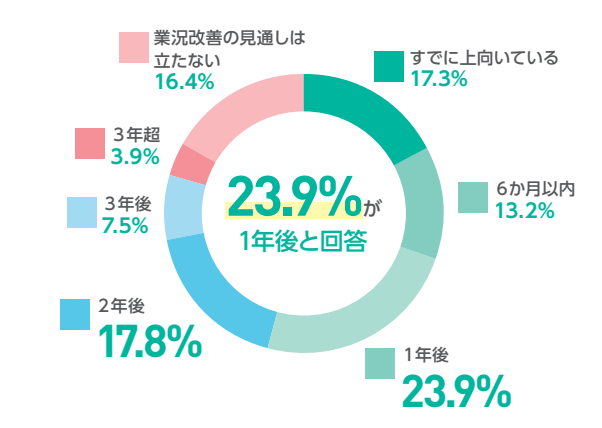
### Q2 貴社では、2023年の自社の業績(景気)をどのように見通していますか。 ※1つ選択



### Q3 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。 ※1つ選択



### Q4 貴社では、自社の業績が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。 ※1つ選択



### Q5 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。 ※最大3つ選択

